

# 5か年加速化対策による愛知県道路事業の成果

加速化対策による瀬戸大府東海線(長久手工区)の整備は、災害時の物資・人材受け入れの起点となる東名高速道路名古屋IC及び名古屋瀬戸道路長久手ICへのアクセス向上や、混雑する長久手市中心部を迂回したネットワークの形成による緊急輸送道路網の機能強化を促進し、地域防災力の向上に貢献

(1) [対策名] 51  
高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策

- ◆事業名 社会資本整備総合交付金事業 (道路事業)
- ◆路線名 主要地方道瀬戸大府東海線 (長久手工区) (長久手市長湫町地内)

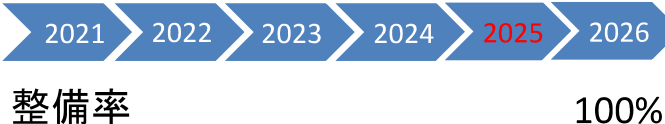
## (2) 事業概要

- ◆目的: 4車線のバイパス道路の整備により、渋滞の緩和を図るもの
- ◆総事業費: 84.1億円 (5か年加速化対策事業費: 0.95億円)
- ◆事業期間: 2002年～2026年(予定)
- ◆整備内容: バイパス整備工事 L=1.5km

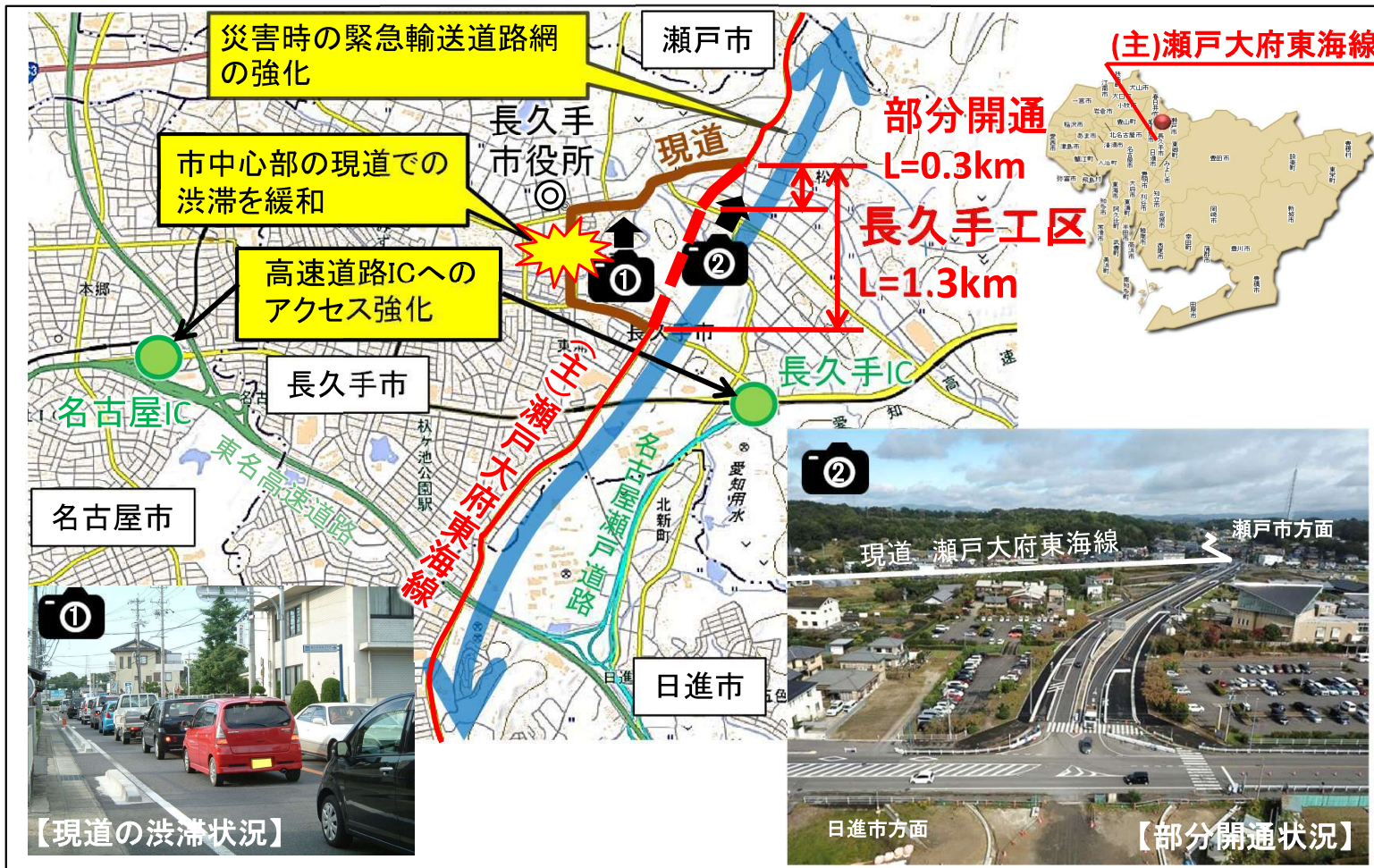
## (3) 事業スケジュール及び効果

### ◆事業スケジュール

2025年度部分開通  
L=0.3km



5か年加速化対策活用により予定どおり完成する見込み



- 〔効果〕
- 尾張東部地域における緊急輸送道路網の強化！
  - 東名高速道路名古屋IC及び名古屋瀬戸道路長久手ICへのアクセス性向上！
  - バイパスへの交通分散による長久手市内中心部の交通渋滞の緩和！